

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	映像編集関連技術	科目名	フォトテクニック	科目コード	D0750B1
配当期	前期	授業実施形態	通常	単位数	4単位
担当教員名	矢野 誠	履修グループ	<u>2L(DG/DM/DW/MA)</u>	授業方法	演習
実務経験の内容	<p>広告写真撮影業に関わり四半世紀。フリーカメラマンとして活動。ドールなどニッチな撮影も多い。その中で得た撮影技術を実技の中で実践的に講義</p>				
学習一般目標	<p>カメラ、レンズ、照明などの使用技術と論理と理解 写真表現と技術の取得</p>				
授業の概要および学習上の助言	<p>カメラ機材と業務用ライティング機材を使用し実践的な撮影技術を学習。 アナログからデジタルへと機材が大きく変わり誰もが簡単に綺麗な写真が撮れる環境と時代の中、機材やソフトに操られるのではなく、自分で思考し表現する方法を学ぶ。</p>				
教科書および参考書	<p>「写真の教科書」(株式会社インプレス) 適時プリント資料等の配布</p>				
履修に必要な予備知識や技能	<p>自前のデジタル一眼カメラの使用可(露出などマニュアル操作可能なもの) 使用する際は基本操作の習得 Photoshop等の基本操作、及びプリントアウト方法</p>				
使用機器	<p>一眼レフカメラ、照明機一式</p>				
使用ソフト	<p>フォトショップ、ニコンソフト等</p>				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
		基本的な写真知識の会得、カメラ操作、撮影ができる。			
		被写体を観察し思い通りに的確なライティングできる。			
		プレゼンテーション、発表等で自分のアイデア計画を相手に伝え、最終的にそれを作品制作で表現できる。			
		講義と実習に意欲をもって取り組むことができる。			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合					70		30	100	
	学部 D P	1.知識・理解					20			
		2.思考・判断					20			
		3.態度								
		4.技能・表現					30			
5.関心・意欲								30		
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験									
	クイズ 小テスト									
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品	作品制作、全4回								
	ポートフォリオ									
	その他	授業への出席、取り組みなどを含め総合的に判断する。								

授業明細表

回数/日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 4/21	本講座の目的 使用機材の説明 カメラ、レンズについて	カメラの 構え方等 の実習	
第2週 4/28	露出について 目的と効果 撮影実習	撮影実習	カメラとレンズ 基本操作と効果の 学習
第3週 5/12	ライティング実習	撮影実習	
第4週 5/19	作品制作1 「100カット撮影」1	制作実習	照明技術の習得
第5週 5/26	作品制作1 「100カット撮影」2	制作実習	実践的な撮影と写真現像、 編集 写真セレクト
第6週 6/2	作品制作1 「100カット撮影」3	制作実習 合評	
第7週 6/16	作品制作1合評 作品制作2 「スチールライフ」1	合評 制作実習	モノの考察と新しい視点、 撮影技術とアイデア、 作品展示
第8週 6/23	作品制作2 「スチールライフ」2	制作実習	
第9週 7/7	作品制作2 「スチールライフ」3	制作実習	
第10週 7/14	作品制作2合評 作品制作3 「フォトグラフィック」1	合評 制作実習	技術とアイデア、 効果と応用、プレ ゼンテーション
第11週 7/21	作品制作2合評 作品制作3 「フォトグラフィック」2	制作実習	グループ制作シュ ミレーション
第12週 7/28	作品制作2合評 作品制作3 「フォトグラフィック」3	制作実習	
第13週 8/18	作品制作2合評 作品制作3 「フォトグラフィック」4	制作実習 合評	
第14週 8/25	作品制作3合評 作品制作4 「フリースタイルフォト」1	制作実習	機材と方法に囚わ れない自由撮影 (一眼以外の使用 可)
第15週 /	作品制作4 「フリースタイルフォト」2	制作実習 合評	機材と方法に囚わ れない自由撮影

	作品制作4合評		(一眼以外の使用 可)
--	---------	--	----------------